



2022年5月27日

各位

会社名 株式会社ハイマックス  
代表者の役職名 代表取締役社長 中島 太  
(コード番号 4299 東証プライム市場)  
問い合わせ先 執行役員 岡田 喜久男  
経営管理本部長  
電話番号 045-201-6655

## 上場維持基準の適合に向けた計画書に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月22日に、「新市場区分の上場維持基準への適合に向けた計画書」を提出し、その内容について開示しております。

2022年3月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

### 1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2022年3月末時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっております。

		流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (百万円)	流通株式比率 (%)	1日平均 売買代金 (百万円)
当社の適合 状況及び その推移	2021年 6月末時点※1	83,599	9,289	67.3	30
	2022年 3月末時点※2	83,994	10,106	67.7	22
上場維持基準		20,000	10,000	35	20
2022年3月末時点の 適合状況 (当社試算)		適合	適合	適合	適合

※1 2021年3月末の株式分布状況表から保有目的が純投資である株式を含めて、東証が算出した二次判定の結果に基づき記載。

流通株式時価総額の算定に用いた株式の最終価格の平均値(2021年4月～6月)は、1,111.1円。

※2 2022年3月末の株式分布状況表から保有目的が純投資である株式を含めて、当社が算出した結果に基づき記載。

流通株式時価総額の算定に用いた株式の最終価格の平均値(2022年1月～3月)は、1,203.2円。

1日平均売買代金の算定に用いた期間は、2022年1月～4月。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取り組み (2022年3月末時点)

2021年12月22日に開示した『新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書』に基づき、以下のとおり取り組みました。

- 1) 現中長期経営計画『C<sup>4</sup> 2022』(2016～2022年度)の完遂に基づく、事業規模の拡大  
当中長期経営計画の最終年度である2023年3月期の事業計画目標(連結)は、次のとおりであります。

- ① 売上高：17,750百万円(当該計画期間の年平均売上高成長率7.0%)  
DX関連売上高比率10%超。  
② 売上高営業利益率：10%以上の確保  
③ ROE：12%以上の確保

	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期 (予想)
売上高	110億	124億	134億	148億	153億	154億	167億	177.5億
(利益率)	7.7%	7.7%	7.3%	6.6%	6.6%	8.9%	10.3%	10.0%
営業利益	8.5億	9.6億	9.8億	9.9億	10.1億	13.7億	17.2億	17.7億
ROE	9.0%	10.7%	9.6%	9.8%	8.8%	11.2%	13.4%	12%以上

- 2) IR活動の強化による、当社事業への理解と認知度の向上

- 決算短信の英語版開示：  
[https://ssl4.eir-parts.net/doc/4299/ir\\_material3/183309/00.pdf](https://ssl4.eir-parts.net/doc/4299/ir_material3/183309/00.pdf)
- 機関投資家・アナリスト向け決算説明会の定期開催及びアーカイブ配信の継続  
：<https://www.himacs.jp/ir/library/material.php>
- 決算説明会の書き起こし記事配信示  
：<https://www.himacs.jp/ir/library/material.php>
- 従来型又はオンライン形式の個人投資家説明会の定期開催継続  
：<https://www.link-cc.co.jp/news/220203.html>
- 『決算のご報告(株主様向け小冊子)』の定期発行継続  
：<https://www.himacs.jp/ir/library/report.php>
- 『Fact Book(直近5年間の業績数値及び経営指標を掲載、英語版)』の継続開示  
：<https://www.himacs.jp/ir/library/factbook.php>
- 1on1ミーティング、スモールミーティングを積極的に対応
- 株主優待制度の継続

- 3) 株主還元策の更なる充実により、当社株式への投資魅力を高める

当社は、株主の皆様へ安定的かつ適正な利益還元を継続していくことを配当政策の基本方針とし、また、連結配当性向の水準は、40%を目安といたします。

直近の配当予想につきましては、2022年5月13日に開示した「2023年3月期の配当予想に関するお知らせ」(<https://ssl4.eir-parts.net/doc/4299/tdnet/2121276/00.pdf>)をご参照下さい。

4) コーポレート・ガバナンスの更なる充実

詳細は、2022年6月17日開催の第46期定時株主総会招集ご通知をご参照下さい。

第46期定時株主総会招集通知 : <https://www.himacs.jp/ir/meeting/index.html>

コーポレートガバナンス・コードの要旨	当社の対応状況
【原則4-8】 独立社外取締役3分の1以上選任	2022年6月17日開催の第46期定時株主総会において、取締役選任議案が原案どおり承認された場合、取締役会における独立社外取締役の比率は、3分の1以上となります。
【補充原則4-10①】 指名・報酬委員会構成の独立性、権限・役割等の開示	当社は、任意の指名委員会及び報酬委員会を設置しております。両委員会とも独立社外役員が構成員の過半数を占めており、その独立性は確保されていると考えております。 各委員会の役割・権限は次のとおりであります。 (指名委員会) ・取締役の選任および解任に関する株主総会議案並びにそのために必要な基本方針、規則および手続等の制定、変更、廃止 ・サクセッションプランの検討・検証の他、取締役候補者の選任および取締役の解任に関して指名委員会が必要と認めた事項 (報酬委員会) ・取締役の報酬の妥当性及び個人別報酬等の内容の決定方針並びに個人別の報酬案の検討・作成
【原則4-11】 取締役会の多様性	2022年6月17日開催の第46期定時株主総会において、女性の独立社外取締役を選任する議案を付議いたしました。
【補充原則4-11①】 スキルマトリックスをはじめ、取締役のスキルの組み合わせの開示	2022年6月17日開催の第46期定時株主総会招集ご通知に記載しております。

以上

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。